

藤枝市
郷土博物館
特別展

江戸の仕掛け人 葛屋重三郎

プロデューサー

喜多川歌麿、東洲斎写楽
大田南畝、十返舎一九：
葛重がつなぐ、
江戸と駿河・遠江

2025
11/8 SAT - 12/21 SUN

前期 11/8(土)-11/30(日)

後期 12/2(火)-12/21(日)

藤枝市郷土博物館・文学館



藤枝市



【休 館 日】毎週月曜日(11/24は開館)、11/25(火)

【開館時間】9:00-17:00(入館は16:30まで)

【特別展入館料】一般:500円(中学生以下・障がい者手帳等をご提示の方無料)

〒426-0014 静岡県藤枝市若王子500(蓮華寺池公園内)

TEL:054-645-1100 FAX:054-644-8514 Email:muse@city.fujieda.shizuoka.jp



生み出した **カルチャー** **とアート** **蔦重が**

令和7年の大河ドラマの主人公 蔦屋重三郎は江戸の吉原で生まれ、江戸の戯作者や浮世絵師をプロデュースし、後世に残る本や浮世絵を数多く出版しました。本展では、喜多川歌麿や東洲斎写楽の浮世絵、大田南畝や山東京伝の書籍など、蔦屋がプロデュースした作品に加え、田沼意次をはじめとした同時代を生きた人々の関連資料など、約200点を展示します。また、プロジェクションマッピングや耕書堂の再現模型、マンガなどを通じて蔦屋と彼の周りの人々を分かりやすく解説します。蔦屋たちが創り出したカルチャーとアートをお楽しみください。

蔦屋重三郎とは？

Tsutaya Juzaburo [1750-1797]

江戸時代中期の版元。江戸吉原で生まれ、親戚の蔦屋次郎兵衛の茶屋の軒先で小さな書店をはじめ、版元としてのキャリアをスタートします。吉原の案内書「吉原細見」の出版を行うなど、吉原を中心に事業を拡大し、1783年には日本橋通油町に出店します。大田南畝や山東京伝と交流し、狂歌集や黄表紙を多数出版し、江戸で評判の版元となります。しかし、1791年、幕府に摘発され、身上(財産)の半分以上を没収されます。その後、本格的な浮世絵出版に進出し、喜多川歌麿の美人画や東洲斎写楽の役者絵の出版など、後世に残る傑作をプロデュースしました。1797年、脚気により48年の生涯を閉じました。



【前期展示】喜多川歌麿「釣り舟」(たばこと塩の博物館 所蔵)



静岡県内で発見された蔦重版の本『手毎の清水』



【全期展示】蔦屋重三郎が日本橋通油町に開いた書店「耕書堂」の再現模型(小幡耕一制作)



【後期展示】喜多川歌麿「当時全盛美人揃玉屋内小紫、こてふ、はる次」(川崎・砂子の里資料館 所蔵)



藤枝市内で発見された喜多川歌麿の浮世絵「難波屋おきた」



藤枝市内に残された東洲斎写楽の浮世絵「初代中山富三郎の宮城野」

イベント情報

【蔦屋重三郎展記念講演会】

料金:一律500円(特別展入館料込み)

要事前申込(前日までに電話・FAX・申込フォームで郷土博物館まで)

博物館受付で講演会用チケットの購入をお願いいたします。(当日のみ会場で購入可能)

11/16(日) 「江戸時代の書籍文化と蔦屋重三郎」

14:00-15:30



講師:鈴木俊幸(中央大学文学部教授、大河ドラマ「べらぼう」版元考証) 蔦屋重三郎研究の第一人者が、蔦屋重三郎の生涯と彼が牽引した江戸時代の書籍の出版や流通のシステムを解説します。

会場:藤枝市生涯学習センター 定員:200名

12/21(日) 「政治・文化が結ぶ江戸と駿河」

14:00-15:30



講師:大石 学(静岡県歴史博物館館長、東京学芸大学名誉教授)

江戸時代の研究で多くの実績があり、「篤姫」「龍馬伝」など大河ドラマの時代考証を数多く務めた講師が、江戸時代の文化と社会を語ります。

会場:BiViキャン(BiVi藤枝1階) 定員:180名

※12月21日(日)は特別展最終日です。展示見学をご希望の方は講演日の前にご来館ください

【ギャラリートーク】「江戸の仕掛け人 蔦屋重三郎」

11/8(土)

11:00-12:00

15:30-16:30

解説:本展担当学芸員

会場:藤枝市郷土博物館・文学館 特別展示室(申し込み不要。直接会場にお越しください/当日の特別展入館者対象)

【蔦屋重三郎展講座】

料金:大人の方は特別展入館料が必要です(中学生以下無料)

要事前申込(前日までに電話・FAX・申込フォームで郷土博物館まで/当日の特別展入館者対象)

会場:藤枝市郷土博物館・文学館 講座学習室 定員:100名

11/24(月・祝) 「蔦屋重三郎・田沼時代の出版と駿河・遠江の読書文化」

14:00-15:30



講師:岡村龍男(豊橋市図書館学芸員)

書物を著わす人々の研究は多くありますが、今回は書物を読む人びとの駿河・遠江の「読書文化」に迫ってみましょう。

12/7(日) 「蔦屋重三郎と歌麿・写楽」

14:00-15:30



講師:山本ゆかり

(川崎・砂子の里資料館学芸員、国際浮世絵学会常任理事)

蔦屋重三郎が見出した浮世絵師・喜多川歌麿と東洲斎写楽の残した画業を浮世絵の専門家が解説します。

【市民ギャラリー展示】「動く!ウキヨエ東海道の旅」

11/8(土)

12/21(日)

江戸時代の東海道を描いた浮世絵が動き出す!? 動く浮世絵映像で、江戸時代の旅人になった気分を味わいましょう。

会場:文学館2階市民ギャラリー(当日の特別展入館者対象)